

新緑のイベント



宇津江四十八滝山野草花園
花の森まつりは6月8日(土)、9日(日)

が実現します。国府でスペシアルライブを楽しみましょう。

【期日】 6月8日(土)

【時間】 午後7時～9時

【場所】 こくふ交流センターさくらホール(国府町広瀬町)

【協定金】 5000円

※事前申込不要です。

【問合せ】 国府町まちづくり協議会

☎72-4480

きよみ寄席

落語家春風亭一朝、春風亭一花による寄席を開催します。

【期日】 6月11日(火)

【時間】 午後7時～9時

【場所】 きよみ館(清見支所)

【定員】 120人

【入場料】 300円(中学生以下無料)

※事前申込不要です。直接ご来場ください。

【問合せ】 清見町まちづくり協議会

☎77-9516

高山陣屋特別企画

「陣屋町高山で街歩き」
陣屋町高山を街歩き。絵図史料や古写真を参照しながら「陣屋町」高山を街歩き。

街角に残る歴史の痕跡を探し、城下町から「陣屋町」に再編された近世高山の様相をたどります。

【期日】 6月15日(土)

【時間】 午後1時30分～4時30分

【問合せ】 スポーツ推進課

☎35-3157

FAX 35-3414

広報ID 1008357

【場所】 高山陣屋(八軒町1)

【対象】 中学生以上

【定員】 20人(先着順)

【参加料】 無料

【申込】 6月14日(金)までにTEL

【問合せ】 高山陣屋管理事務所

☎32-0643

第13回 飛騨高山ふるさと発見 てくてくウォーキングin 荘川

郷土の魅力再発見と健康づくりを目的に開催します。荘川ドームを発着点にそばの里を目指す約6キロのコースです。

今回は、ウォーキング講座もあわせて行います。

【期日】 7月7日(日)

【時間】 午前8時30分～正午

【場所】 活性化施設荘川ドーム(荘川町猿丸)

【対象】 市内在住の方(中学生以下は成人の同伴が必要です)

【定員】 150人(超えた場合は抽選)

【申込】 参加申込書に必要事項を記入のうえ、6月24日(月)までにスポーツ推進課(本庁3階)または各支所窓口・TEL・FAX

※申込書はスポーツ推進課、各支所にあるほか、HPからダウンロードできます。

【問合せ】 スポーツ推進課

☎35-3157

FAX 35-3414

広報ID 1008357

飛騨山脈ジオパーク構想 ジオサイト(第18章) 上宝町細越の「杖石」

高原川に沿って国道471号が通っていますが、神岡町と奥飛騨温泉郷の栃尾とのほぼ中間の道路脇に、垂直に切り立った巨岩が目に入ります。すぐ横に駐車場があるので車を止めて観察してみましょう。頂上まで登ると高原川の急流や周辺が見渡せ、なかなかよい眺めです。

この巨岩を弘法大師の杖に見立てて「杖石」と呼んでいます。明治初期に書かれた『斐太後風土記』に杖石の絵図があったので載せました。この絵図の通り高原川の川原の中に切り立った岩は、昔から人々の関心が持たれて敬愛する弘法大師の登場となったのでしよう。絵図には「高さ二十丈(約60m)」と書いてありますが、実際はふもとから45mほど高まっています。



豪雨となると濁流が高原川に押し寄せ、巨石を流し岸辺を削っていく激しい侵食の様子をみると、なぜ杖石だけが残ったのか昔の人も不思議に思ったことでしょう。

杖石を造っている岩石を見たところ、「溶結凝灰岩」と言っても熱い火山灰が押し固まりとても固い岩石であることが分かりました。杖石の南側にある大雨見山周辺に広がる6500万年前の火山活動の時に噴出した岩石です。

杖石と高原川対岸との幅は、ここだけ狭くなっているの、特に杖石付近がとても固くなっていると思われませんが、何故ここだけが特別なのか、と疑問が残ったままです。

杖石の頂上には、弁財天が奉られ、参拝すると良縁に恵まれると言われています。



(飛騨地学研究会 岩田 修)

【問合せ】 飛騨山脈ジオパーク推進協議会

☎0578-84-0038